産業廃棄物処理計画書

令和6年 5月 31日

広島市長

提出者

住所 広島県竹原市中央四丁目7-3

氏名 創建ホーム株式会社

代表取締役 山本 慎

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0846-22-8555

年度の

産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	創建ホーム株式会社 広島支店管轄の新築・解体工事現場	
事業場の所在地	広島市内一円	
計 画 期 間 令和6年4月1日~令和7年3月31日		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		

②事	業	の	規	模	工事完成売上高	20億円	(前年度実績)
3従	業	į	Ī	数	33人		

④産業廃棄物の一連 の処理の工程

①事 業 の 種 類 総合工事業

※別紙①参照

条例別紙1 (条例-産業廃棄物処理計画書)

単位:トン/年 自ら行う埋立処分等に関する事項 単位:トン/年 排出抑制に関する事項 自ら行う再生利用に関する事項 自ら行う中間処理に関する事項 処理委託に関する事項 自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量 自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行う産業廃棄物の量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量 排出量 全処理委託量 現状 計画 現状 計画 現状 計画 現状 現状 現状 計画 現状 計画 現状 計画 現状 計画 現状 産業廃棄物の種類 燃え殻 汚泥 廃油 廃酸 廃アルカリ 廃プラスチック類 110.313 110.313 110 76.398 109.613 109 紙くず 56.196 56.196 56 46.296 56.196 木くず 182.988 182 136.403 繊維くず 1.689 1.689 1.689 動植物性残さ 動物系固形不要物 ゴムくず 金属くず 84.829 84.829 68.783 83.247 83 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 68.874 68.874 68.874 68.874 68 がれき類 203.473 203 162.281 動物のふん尿 動物の死体 ばいじん 合計 708.362 704.5 708.362 704.5 560.724 557.5 634.091 631

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。

条例別紙2(条例-産業廃棄物処理計画書)

1 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項(管理体制図等)

【参考様式】

記載項目を満たしていれば、任意の様式 で作成したものでも提出可能です。

※別紙②を参照

2 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	材料の使い方の工夫で残材を減少させる
(これまでに実施した取組)	予算管理により材料のロスを減少させる
②計画	施工業者へ材料の具体的な使い方を提示することで
(今後実施する予定の取組)	抑制を推進する

3 産業廃棄物の分別に関する事項

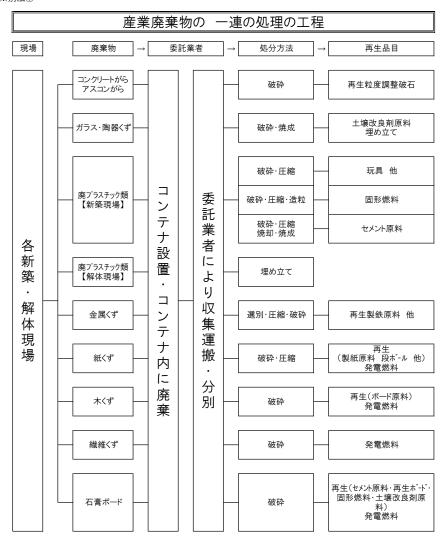
①現状 (分別している産業廃棄物の種類及 び 分別に関する取組)	現場へ分別を明確にするBOXを設置して分別を推進
②計画 (今後、分別する予定の産業廃棄物 の 種類及び分別に関する取組)	現場の分別を明確にするBOXを設置と分別の推進を 喚起して、現場廃棄物のリサイクル化と分別の徹底を 指導強化
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する	5事項
①現状 (これまでに実施した取組)	
②計画 (今後実施する予定の取組)	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する	5事項
①現状 (これまでに実施した取組)	
②計画 (今後実施する予定の取組)	

6 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状 (これまでに実施した取組)	
②計画 (今後実施する予定の取組)	

7 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状 (これまでに実施した取組)	再生処理の可能な体制を整える産廃処理業者に委託する
②計画	再生処理の可能な体制を整える産廃処理業者への
(今後実施する予定の取組)	委託を推進する優良業者の選定を推進



管理体制図の例

※別紙②

